

地学部天文班の活動報告

松岡弘祐・藤原実咲（兵庫県立西脇高等学校 地学部天文班）

2020年度に地学部天文班ができるまで

- ・昭和58年1月 西脇高校の天文部 設立
- ・平成5年前後まで天文部の使用した記録あり（その後の記録なし）
- ・2019年度 科学教育類型72回生（現3年生）惑星班が使用
- ・2020年9月 現1年生2名（発表者）が地学部天文班を結成



今年度の地学部天文班の活動

- ・本校の天文室での天体観測会
- ・にしわか経緯度地球科学館「テラ・ドーム」訪問と高原摂竜先生から特別講義
- ・兵庫県立小野高等学校 教諭 稲葉浩介 先生との交流
- ・西はりま天文台 大島誠人 先生 来校と特別講義

（上記の感想）

人生で初めて天体観測会を行い月を撮影することができました。テラドーム訪問では大型望遠鏡も見学させていただきました。また、館長補佐の高原先生からアドバイスもしていただいて活動の方向性を示していただきました。小野高校の稲葉先生と西はりま天文台の大島先生には本校の望遠鏡を見て頂き、望遠鏡の使い方や他の高校の天文に関する活動についてご教授いただくことができました。

現在の活動内容

- ・天体や星雲をきれいに撮影するためにカメラの機能や構造を理解する。
⇒2021年2月にフジのXA-3を購入済み

研究テーマ（目標）

- ・本校の望遠鏡を活用：観測可能な天体を確かめる。

参考にしたい他校の活動例

- ・研究活動

兵庫県立三田祥雲館高校天文部：「太陽の黒点観測、流星電波観測、ギャラッド彗星の測光観測」など

兵庫県立舞子高校天文気象部：「H α 望遠鏡を使った太陽プロミネンスの活動の観測」

- ・普及活動

兵庫県立三田祥雲館高校天文部「祥雲星空教室」三田市内の小・中学生を学校に招き公開観望会を実施

兵庫県立舞子高校 天文気象部「Mitakaを使った3D宇宙旅行」一般市民を対象に京阪神で幅広く実施



出展を想定している学会や大会

日本天文学会ジュニアセッション、日本地質学会ジュニアセッション、サイエンスフェア in 兵庫県、東京理科大学 坊っちゃん科学賞、神奈川大学 論文大賞 など